

森林官からののおたより

磐城森林管理署 葛尾森林事務所

自然豊かな葛尾村

当森林事務所は、福島県の東部、浜通り地区の阿武隈山地のほぼ中央に位置する葛尾村にあり、約4,820haの国有林を管理しています。村の大部分を山林が占めており、集落では農地、牧草地が多く見られるなど、貴重な里山の風景が広がっています。

葛尾村の見所としては日山（富士山が見られる最北の山・標高1,058m）や五十人山（標高

森林官 松井 健 吾

883m）が挙げられ、いずれも大部分が国有林となっており、阿武隈高原中部県立自然公園に指定されています。

広々とした山頂に山ツツジが群生している日山では、日山神社が祀られており、村民の憩いの場となっているほか、毎年行われる山開きでは多くの登山客でにぎわっています。

一方、五十人山でも山頂の約1haにわたって広がる芝生に山ツツジやスズランが群生しており、天気の良いと遙か太平洋も見渡すことができますことから、多くの登山客が訪れています。

また、景勝地として知られている高瀬川溪谷や、その支流として村の中央を流れる葛尾川の一帯にも豊かな自然が残されているほか、ヤマメやイワナの宝庫となっており、多くの人々に親しまれています。

管内の仕事

葛尾村は全体の半分近くが国有林であるため境界線が非常に長く、境界の管理が重要な仕事となっています。また、村内は水道が整備されて



境界の管理業務

いないところが多く、生活用や農業用の水を必要としている人が多く、水源地としての貸付も多くあります。また、スギ、ヒノキの他にアカマツ林が広く分布しており、最近では合板材としての需要が高まってきていることから、森林の整備を行いつつ資源を活用していくため、アカマツ林の間伐を積極的に行っています。

地域との交流

普段仕事をしている中で、かつて国有林の仕事を手伝っていたいたという年輩の方々と多く出会います。

また、多くの住民の方に、分取造林を通して森林の整備に参加して頂いています。

それゆえ、昔から地域住民の方と国有林との繋がりが深いものであったと思う反面、国有林野事業の変化

から現在では、その繋がりが希薄なものになりつつあると感じられます。国有林野事業を行っていくためには地域住民の方々の協力と理解が必要であり、普段から積極的に交流を持つようにしています。村内ではスポーツが盛んであり、私も週に一度、村の体育館でテニスに参加させてもらっています。

また、毎年8月には集落の盆踊り大会が催され、昨年は地域住民の一人としてその催しを手伝わせて頂き、交流を深めることができました。

森林の整備、保全はもちろんのことですが、このような交流を通して多くの人に森林に対する関心を持ってもらい、国有林のPRを行っていくことも、森林官としての重要な役割であると感じます。



日山（天王山）の山開き



管内を流れる葛尾川